

# 働く者の生活向上と 社会貢献の道に生きる



## 東芝Nextプランに

昨年11月に発表された「東芝Nextプラン」にもとずき、(株)東芝と分社された東芝グループ各社では新しい経営施策が実施されています。

東芝の職場を明るくする会の門前配布ビラやホームページをみた方からは、アンケートへの回答や相談電話が寄せられています。

東芝Nextプランは、粉飾決算とアメリカ原発事業の巨額損失という経営の大失敗を克服

これからの20年  
サイバー・フィジカル技術による社会変革の時代

急激に変化する社会からの要請

エネルギー・資源・気候変動  
都市化・高齢化・人手不足



サイバー・フィジカル技術の融合

サイバー技術のさらなる進化

AI、量子計算  
デジタルツイン



フィジカル技術のブレークスルー

ロボティクス  
バイオ、材料



し、新事業をおこして社会貢献の道へ切りかえる計画です。

東芝グループ企業で働く労働者にとっては、生活と権利を守り向上させるべき計画です。

削減、自然減を中心に」という方針があり、東芝エネルギーシステムズ(株)や東芝デジタルソリューション(株)では、早期退職募集が始まっています。

しかし、いま東芝にとって大事なことは、3年以上にわたる出向や転籍と早期退職募集などで傷ついた職場の人間関係を改善し、将来への展望を確かなものにする事です。

安易な早期退職募集や事業所・子会社の再編成による人減らしリストラは許せません。

### 人材を活用した経営努力を

「デジタルトランスフォーメーション」や「CPSテクノロジー」の基礎には「人間尊重」と「人材育成」の経営方針がとらぬべきです。

東芝経営者に求められているのは、「人員削減、株主への利益還元」という投資ファンドの短期的利益・圧力に流されず、豊富な人材を新しい事業に振りむけ、成長する展望を示すことです。労働組合には、経営幹部に対して労働者の雇用と権利を守らせる取り組みが求められます。原発事業失敗と粉飾決算問題のあやまちは繰り返せません。

いまこそ、職場で働く皆さんの声を活かして雇用・権利を守り、生活を向上させましょう。



### 早期退職募集の前にやるべきことは？

会社は、4つの改革を打ち出しました。

- ① 構造改革：海外原発・LNG事業から撤退、人員適正化・生産拠点と子会社の再編
- ② 調達改革：直接材・間接材の原価率の低減
- ③ 営業改革：体制強化、受注時の審査拡充
- ④ プロセス改革：IT基盤整備の投資、このなかには「5年間で7000人の人員

#### 東芝の職場を明るくする会

2019年 2~3月発行  
〒212-0024 川崎市幸区塚越2-225 安伸ビル  
TEL・FAX 044-555-4190

090-6536-6186 (鈴木、小向事業所OB)  
090-6106-6758 (松本、京浜事業所OB)

一人でも 加入できる労働組合です  
生活と権利を守るために  
会社と団体交渉ができます  
一人で悩まず、ご相談下さい

電機・情報ユニオン  
Tel:03-6421-5323 Fax:03-6421-5324

# 東芝は早期退職を強要するな

## 再就職支援説明会への参加は本人希望で パワハラ面談は直ちにやめよ

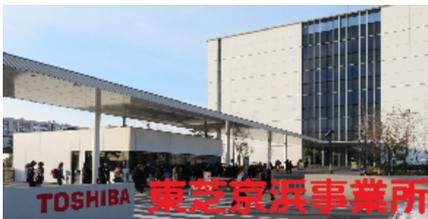
東芝グループ会社で働く皆さん、  
派遣契約や請負契約などで働くみなさん  
わたしたちは、一人ひとりの人権が尊重される明るい職場づくりをめざしています。

東芝エレクトロニクスシステムズ(株)(ESS社)や東芝デジタルソリューションズ(株)(TDSL社)では、早期退職面談が始まっています。

### 「4月から、きみの仕事がない、 早期退職に応じなさい」は不当

「グループ長(課長)から『4月から君の仕事がない』と早期退職募集説明会への参加を強要された。その話し方が部長から指示された通りにやっているようでこわかった。言われたら東芝をやめるしかないんですか？」

このような相談が、東芝の職場を明るくする会に寄せられています。



東芝Nextプランでは、「人員削減は自然減を中心に、早期退職募集は希望者で」となっています。1月10日付け(ESS総務部)文書でも「説明会出席対象者は希望者」となっています。部毎に削減対象者を決め、個別に説得するやりかたは、パワハラにつながる違法な人事対策であり許せません。

### 日立も原発で 損失3000億円

日本政府の原発輸出政策は全世界で失敗し、日立もイギリスで3000億円の巨額損失です。安倍自公政権のエネルギー政策に未来はありません。使用済み核燃料や放射性廃棄物の処理方法に見通しがたたないのですから、いまこそ東芝は「原発はゼロ・再生可能エネルギーの活用を」という社会的な要請にこた

えて、底力を発揮すべきではないでしょうか。

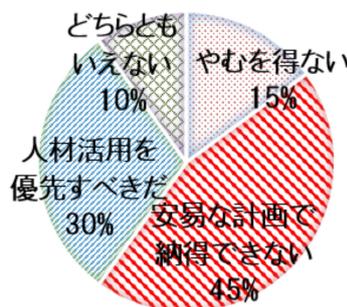
東芝磯子エンジニアリングセンターは、沸騰水型と加圧水型の原子力発電システムの開発と輸出拡大を目的に設立されましたが、いまは、原発輸出事業からの撤退が決まり、多くの技術者が他部門に配置転換されることとなります。優秀な力量をそなえた人が、新しい分野で活躍することが期待されています。

### 東芝の職場を明るくする会は、 力を合わせ労働者の権利を守ります

「少なくなった人員で苦勞している。残業が減って生活が苦しい。昇格と賃上げが切実に必要です」という声が増えています。

「春闘では、緊急対策の減収分をおぎなう特別一時金を」という声もあります。

東芝の職場を明るくする会がおこなったアンケートには、人員削減・早期退職募集などに厳しい批判が寄せられています。



成果主義の弊害となっている差別的な処遇や査定改善も急務です。

配転・出向・転籍では、法令や労使協定を活用して労働者一人ひとりの権利と幸せな家庭

庭生活を守るために力を合わせましょう。

東芝の職場を明るくする会HPを見よう  
検索のキーワードは 「東芝の職場」

//www.kki.ne.jp/akaruku-tsb

連絡先 Tel&Fax 044-555-4190

メール akaruku-tsb@kki.ne.jp